



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,200	△0.2	227	△6.9	312	△8.9	194	1.0
26年3月期第1四半期	4,210	1.9	244	8.8	342	17.8	192	0.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 442百万円 (101.8%) 26年3月期第1四半期 219百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.84	—
26年3月期第1四半期	2.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	21,982	16,479	75.0	241.16
26年3月期	21,738	16,158	74.3	236.46

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 16,479百万円 26年3月期 16,158百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	1.50	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	△0.6	450	△11.5	550	△10.7	250	△29.1	3.66
通期	16,600	0.1	800	△9.8	900	△14.6	400	△33.3	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	69,774,401 株	26年3月期	69,774,401 株
27年3月期1Q	1,440,055 株	26年3月期	1,439,045 株
27年3月期1Q	68,334,584 株	26年3月期1Q	68,336,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月から施行された消費税の増税の影響により、消費が減速する懸念があったものの、大幅な消費の落ち込みはなく、持ち直しの動きも見え始めました。また、設備投資の増加や雇用環境の改善も一部では見られたものの、円安効果が一巡したことなどにより、企業景気は概ね横ばいで推移いたしました。

食品業界におきましては、消費増税後の買い控えは限定的であったものの、総体的な物価上昇によって実質的な家計所得を押し下げることとなり、依然として楽観視できない経営環境が続いております。

このような状況の下、家庭用商品につきましては、一昨年発売した新しい万能調味料「うまソース」と今年追加品として投入した「うまソーストマトタイプ」は、認知度向上と調味料としての汎用性の高さを訴求するため、料理教室の開催やスーパーマーケット店頭での試食販売など、積極的な活動を展開してまいりました。また、今年3月に発売した「野菜が恋するソース」シリーズ「スライス玉ねぎにかけるさっぱり赤しそ」、「ざく切りトマトを漬けるハニースイーツ」「ちぎりキャベツと和えるまるうまウスター」の3品につきましては、野菜売り場での新しい提案として新聞やテレビ等の露出による効果もあり、順調に配荷が進んでおります。また、「本格お好みソース」等の専用ソース類は、精力的な店頭試食販売や学園祭応援企画の実施等の販売促進を強化したことにより、売上は順調に推移いたしました。

業務用商品につきましては、「メニュー専用特製お好みソース1,200g」、「サラダ用ソーストマトスイーツ1,180g」を5月に発売し、既存の業務用ソース1Lシリーズのラインナップを計11アイテムに増やしました。さらに、業務用プライベートブランドの商品は、お客様との取り組みを密にして、外食店や中食惣菜向けに具体的なメニュー提案活動を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は42億円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は2億2千7百万円（前年同四半期比6.9%減）、経常利益は3億1千2百万円（前年同四半期比8.9%減）、四半期純利益は1億9千4百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億4千4百万円増加し、219億8千2百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1億2千9百万円減少し、83億9千7百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて3億7千3百万円増加し、135億8千4百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて7千6百万円減少し、55億3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加などはあったものの、未払費用の減少などにより前連結会計年度末に比べて2億9百万円減少し、35億3千6百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1億3千2百万円増加し、19億6千6百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて、3億2千万円増加し、164億7千9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が23百万円減少し、利益剰余金が15百万円増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,513	3,273
受取手形及び売掛金	4,260	4,255
商品及び製品	395	470
原材料及び貯蔵品	93	101
仕掛品	18	33
繰延税金資産	194	194
その他	52	68
流動資産合計	8,527	8,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,083	2,078
機械装置及び運搬具(純額)	1,060	1,023
土地	2,711	2,711
その他(純額)	95	106
有形固定資産合計	5,950	5,919
無形固定資産	37	32
投資その他の資産		
投資有価証券	6,658	7,063
その他	623	626
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	7,223	7,632
固定資産合計	13,211	13,584
資産合計	21,738	21,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,647	1,826
1年内返済予定の長期借入金	270	270
未払法人税等	244	106
未払費用	1,114	951
賞与引当金	184	94
その他	286	286
流動負債合計	3,746	3,536
固定負債		
長期借入金	200	200
繰延税金負債	574	716
退職給付に係る負債	857	849
長期未払金	166	166
その他	35	34
固定負債合計	1,833	1,966
負債合計	5,580	5,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	12,148	12,221
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,222	15,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	945	1,194
退職給付に係る調整累計額	△9	△10
その他の包括利益累計額合計	935	1,184
純資産合計	16,158	16,479
負債純資産合計	21,738	21,982

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,210	4,200
売上原価	1,994	2,020
売上総利益	2,215	2,180
販売費及び一般管理費	1,971	1,953
営業利益	244	227
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	74	79
投資有価証券売却益	27	6
その他	1	1
営業外収益合計	103	87
営業外費用		
支払利息	4	2
その他	0	0
営業外費用合計	4	2
経常利益	342	312
特別利益		
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除却損	0	4
たな卸資産廃棄損	23	-
特別損失合計	24	4
税金等調整前四半期純利益	321	307
法人税、住民税及び事業税	128	113
法人税等合計	128	113
少数株主損益調整前四半期純利益	192	194
少数株主利益	-	-
四半期純利益	192	194



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	249
退職給付に係る調整額	-	△1
その他の包括利益合計	26	248
四半期包括利益	219	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219	442
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。